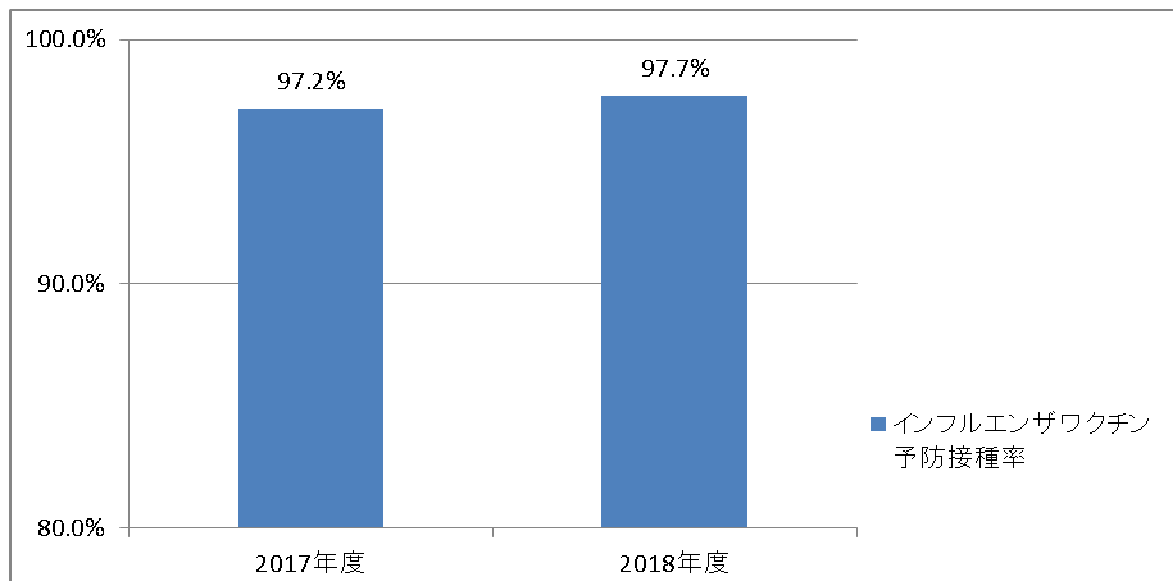


(6) 職員におけるインフルエンザワクチン予防接種率

【指標の説明】

・病院の職員はインフルエンザ患者と接する機会も多く、発症するリスクは一般の人々と比べて高い傾向にあります。医療機関を受診する患者様は、免疫力が低下していることが多く、職員からの感染を防止する必要があります。職員のインフルエンザワクチン予防接種率は、院内感染防止対策への取り組み、また患者様の安全へ繋がる評価と考えます。当院では、インフルエンザの流行前にワクチン接種をすることと考え、アレルギー等で接種ができない職員以外は、全職員のワクチン接種に努めております。



【定義】

インフルエンザワクチンを予防接種した職員数

職員数

× 100 (%)